

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年2月23日 9時~11時10分)

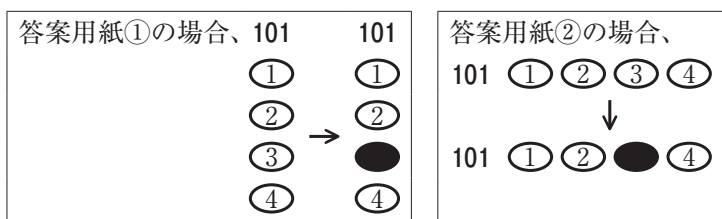
注 意 事 項

1. 試験問題は90問で、解答時間は正味2時間10分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) 問題 101 県庁所在地はどれか。


1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。



- (2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊗ (解答したことにならない。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

専門基礎科目

問題 1 医学研究の倫理に関する宣言はどれか。

1. ジュネーブ宣言
2. ヘルシンキ宣言
3. リスボン宣言
4. アルマ・アタ宣言

問題 2 我が国の国民医療費に含まれるのはどれか。

1. 予防接種の費用
2. 健康診断の費用
3. 帝王切開の費用
4. 入院時室料差額の費用

問題 3 公費医療の対象とならないのはどれか。

1. 生活保護法による医療扶助
2. 母子保健法による養育医療
3. 労働者災害補償保険法による療養
4. 精神保健福祉法による措置入院

問題 4 パターナリズムに基づいている行為はどれか。

1. 治療方針は医療者が決める。
2. 個人情報の保護に取り組む。
3. 患者の自己決定権を尊重する。
4. 患者が治療内容の説明を受ける。

問題 5 疾病予防に関するハイリスクアプローチでないのはどれか。

1. 喫煙者に禁煙指導の実施
2. 市民を対象としたウォーキング大会の実施
3. 糖尿病予備群に運動指導の実施
4. 塩分摂取量が多い者に食事指導の実施

問題 6 我が国の 2021 年度の学校管理下における死亡で最も多いのはどれか。

1. 突然死
2. 溺死以外の窒息死
3. 全身打撲
4. 頭部外傷

問題 7 現在の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置付けはどれか。

1. 5類感染症
2. 新型インフルエンザ等感染症
3. 指定感染症
4. 新感染症

問題 8 産業衛生管理のうち作業管理はどれか。

1. 作業場の換気
2. 作業環境測定の実施
3. 定期健康診断の実施
4. 呼吸用保護具の使用

問題 9 分母が出生数である疫学指標はどれか。

1. 死産率
2. 乳児死亡率
3. 周産期死亡率
4. 妊産婦死亡率

問題 10 洗剤を配合した消毒液をよく泡立てて流水で流す手指消毒方法はどれか。

1. スワブ法
2. ベースン法
3. スクラブ法
4. ラビング法

問題 11 あはき法で、免許の取消処分を受けたときに5日以内に行わなければならないのはどれか。

1. 免許証再交付の申請
2. 免許証の返納
3. 名簿登録の消除申請
4. 施術所休止の届出

問題 12 あはき法で、施術所の構造設備の基準として誤っているのはどれか。

1. 6.6平方メートル以上の専用の施術室を有する。
2. 3.3平方メートル以上の待合室を有する。
3. 施術器具や手指などの消毒設備を有する。
4. 施術室は室面積の9分の1以上に相当する部分を外気に開放し得る。

問題 13 あはき法で、都道府県知事は施術者に対し、衛生上害を生ずるおそれがあると認めるときは、その業務に関して必要な指示ができる。この指示に関して都道府県知事に意見を述べることができるのはどれか。

1. 医師の団体
2. 厚生労働大臣
3. はり師、きゅう師の団体
4. 保健所長

問題 14 法律と定義されている事項の組合せで正しいのはどれか。

1. 医療法 ————— 要介護認定区分
2. 地域保健法 ————— 助産所
3. 医薬品医療機器等法 ——— 管理医療機器
4. 生活保護法 ————— 国民健康保険

問題 15 筋細胞について正しいのはどれか。

1. 平滑筋細胞は介在板で連結する。
2. 心筋細胞は大動脈壁に広く分布する。
3. 心筋細胞は細胞間にギャップ結合をもつ。
4. 筋小胞体には高濃度のナトリウムイオンが含まれる。

問題 16 下肢の骨について正しいのはどれか。

1. 粗線は大腿骨体の前面にある。
2. 内側顆は脛骨の遠位端内側にある。
3. 脛腓関節は脛骨と腓骨の遠位端にある。
4. 小転子は大腿骨頸基部の内側下方にある。

問題 17 頭蓋冠について正しいのはどれか。

1. 新生児の前頭骨は左右に分かれている。
2. 新生児の前頭骨と頭頂骨の間に小泉門がある。
3. 成人の左右の頭頂骨の間に冠状縫合がある。
4. 成人の前頭骨と頭頂骨の間にラムダ縫合がある。

問題 18 卵巣について正しいのはどれか。

1. 卵巣内で受精が行われる。
2. 卵巣動脈は内腸骨動脈の枝である。
3. 固有卵巣索を卵巣動静脈が走行する。
4. 卵巣は卵巣提索によって骨盤側壁に固定される。

問題 19 頸部の筋について正しいのはどれか。

1. 前斜角筋は鎖骨に停止する。
2. 広頸筋は頸神経で支配される。
3. 前斜角筋と中斜角筋の間を腕神経叢が通る。
4. 後頭下筋群は第1頸神経の前枝で支配される。

問題 20 心臓について正しいのはどれか。

1. 前縦隔に位置する。
2. 右房室弁を僧帽弁と呼ぶ。
3. 肺動脈弁は大動脈弁の前方にある。
4. 洞房結節は下大静脈の開口部付近にある。

問題 21 甲状腺について正しいのはどれか。

1. 前面に上皮小体がある。
2. 組織内に多数の濾胞がある。
3. 喉頭と気管の移行部全周を囲む。
4. 上甲状腺動脈は鎖骨下動脈の枝である。

問題 22 交連線維はどれか。

1. 視交叉
2. 大脳脚
3. 内 包
4. 脳 梁

問題 23 交感神経について正しいのはどれか。

1. 瞳孔括約筋を支配する。
2. 節前線維は白交通枝を通る。
3. 節後線維はアドレナリンを分泌する。
4. 節前ニューロンの細胞体は脊髄前角に位置する。

問題 24 血漿について正しいのはどれか。

1. 鮮紅色の液体である。
2. 血漿蛋白の大部分は骨髄で合成される。
3. アルブミンは浸透圧の維持に働く。
4. フィブリノゲンは栄養状態の指標となる。

問題 25 肺循環について正しいのはどれか。

1. 門脈によって体循環とつながる。
2. 肺静脈は右心房に血液を運ぶ。
3. 肺動脈は静脈血を運ぶ。
4. 肺動脈の血圧は大動脈の血圧より高い。

問題 26 動脈血における酸素飽和度の正常値はどれか。

1. 約 67 %
2. 約 77 %
3. 約 87 %
4. 約 97 %

問題 27 大腸について正しいのはどれか。

1. 多数の細菌が常在する。
2. 消化管内水分の約 80 % が吸収される。
3. 大蠕動は 1 時間に数回起こる。
4. 蛋白質分解酵素を分泌する。

問題 28 ホメオスタシスについて正しいのはどれか。

1. 1 日の尿量は成人で約 400 mL である。
2. 血液の pH は約 7.4 である。
3. 細胞外液の浸透圧は 3 % 食塩水に等しい。
4. 細胞内液は体液の約 15 % を占める。

問題 29 インスリンについて正しいのはどれか。

1. 肝臓で産生される。
2. グリコーゲンの分解を促進する。
3. 血糖値が上昇すると分泌が抑制される。
4. 細胞内へのグルコースの取り込みを促進する。

問題 30 寿命が最も長い細胞はどれか。

1. 神経細胞
2. 赤血球
3. 血小板
4. 上皮細胞

問題 31 大脳皮質の機能局在について正しいのはどれか。

1. 運動野は側頭葉上部にある。
2. 聴覚野は中心前回にある。
3. 視覚野は前頭葉下部にある。
4. 体性感覚野は中心後回にある。

問題 32 アキレス腱反射の反射弓について正しいのはどれか。

1. 受容器は腱器官である。
2. 求心性線維は Ia 群線維である。
3. 遠心性線維は γ 運動ニューロンである。
4. 効果器は錘内筋である。

問題 33 疾病の経過において不定愁訴が現れる時期はどれか。

1. 潜伏期
2. 前駆期
3. 侵襲期
4. 極期

問題 34 疾患・症候と代謝異常の組合せで最も適切なのはどれか。

1. 黄疸 ————— 糖代謝異常
2. 痛風 ————— 生体色素異常
3. 黄色腫 ————— 脂質代謝異常
4. ヘモジデローシス ——— 核酸代謝異常

問題 35 播種性血管内凝固症候群(DIC)について誤っているのはどれか。

1. 血小板数は増加する。
2. 出血症状がみられる。
3. 敗血症は原因疾患になる。
4. 細小血管に血栓が生じる。

問題 36 浮腫の原因となるのはどれか。

1. 血漿膠質浸透圧の上昇
2. リンパ還流量の低下
3. 毛細血管内圧の低下
4. 毛細血管透過性の低下

問題 37 HIV 感染によって最も傷害を受ける細胞はどれか。

1. B 細胞
2. NK 細胞
3. CD4 陽性 T 細胞
4. 細胞傷害性 T 細胞

問題 38 HPV 感染について最も適切なのはどれか。

1. 子宮内膜癌との関連が深い。
2. ワクチンは癌の発生を予防できない。
3. 男性には感染しない。
4. 多くの場合、感染しても排除される。

問題 39 睡眠障害について正しいのはどれか。

1. 入眠障害とは途中で何度も目が覚めることである。
2. 過眠症では夜間の睡眠時間が長くなる。
3. 肥満は睡眠時無呼吸症候群の原因になる。
4. むずむず脚症候群(レストレスレッグス症候群)は早朝覚醒が特徴的である。

問題 40 構成失行について正しいのはどれか。

1. 言語の復唱ができない。
2. 上着の袖に腕を通せない。
3. 触れた物の形がわからない。
4. 積み木で形を模倣することができない。

問題 41 身体計測について正しいのはどれか。

1. 上腕周径は肘関節屈曲位で測る。
2. 前腕周径は最大膨隆部で測る。
3. 大腿周径は膝関節屈曲位で測る。
4. 下腿周径は腓骨頭の高さで測る。

問題 42 脈拍について正しいのはどれか。

1. 貧血では徐脈になる。
2. 脳圧亢進では徐脈になる。
3. パーキンソン病では頻脈になる。
4. 甲状腺機能低下症では頻脈になる。

問題 43 易感染性をきたす疾患として最も適切なのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血
2. 特発性血小板減少性紫斑病
3. 急性骨髄性白血病
4. 巨赤芽球性貧血

問題 44 便秘の原因で最も適切なのはどれか。

1. オピオイド内服
2. 胃切除
3. ノロウイルス感染
4. 乳糖不耐症

問題 45 チアノーゼの原因とならないのはどれか。

1. 貧血
2. 左心不全
3. ファロー四徴症
4. COPD

問題 46 声音振盪が増強するのはどれか。

1. 気胸
2. 肺炎
3. 肺気腫
4. 胸水貯留

問題 47 脳神経で、障害されると僧帽筋の筋力低下を示すのはどれか。

1. 三叉神経
2. 顔面神経
3. 迷走神経
4. 副神経

問題 48 ターミナルケアについて最も適切なのはどれか。

1. 原疾患の根治を目標とする。
2. 苦痛緩和を最大限検討する。
3. 生活の質より延命を優先する。
4. 治療方針の決定は医師と患者の家族で行う。

問題 49 食中毒の原因となる細菌と食品の組合せで正しいのはどれか。

1. サルモネラ属 ————— 魚介類
2. 腸炎ビブリオ ————— レバー
3. カンピロバクター —— 鶏 肉
4. 腸管出血性大腸菌 —— 鶏 卵

問題 50 緑内障について正しいのはどれか。

1. 初期の変化は硝子体に起こる。
2. 初期から中心視野が障害される。
3. 視神経は障害されない。
4. 中高年の失明の原因として最も多い。

問題 51 パニック発作について正しいのはどれか。

1. 特定の社会状況で発作が起きる。
2. 発作は数時間続く。
3. 発作時の呼吸困難には酸素投与を行う。
4. 治療には認知行動療法が有効である。

問題 52 小児のアトピー性皮膚炎について正しいのはどれか。

1. 皮膚のバリア機能が亢進している。
2. 湿疹は四肢大関節の屈側に認めることが多い。
3. III型アレルギーが関与している。
4. 抗ヒスタミン薬の内服が第一選択である。

問題 53 抗酸菌感染症について正しいのはどれか。

1. 肺結核の主な感染経路は飛沫感染である。
2. 我が国の2022年の結核新規発症患者数は1,000人以下である。
3. 非結核性抗酸菌は人から人に感染する。
4. 非結核性抗酸菌症は難治性である。

問題 54 COPDについて最も適切なのはどれか。

1. 受動喫煙は関与しない。
2. 肺癌の合併に注意する。
3. 安静時の呼吸困難が特徴である。
4. 禁煙で呼吸機能は改善する。

問題 55 気管支喘息について正しいのはどれか。

1. II型アレルギーである。
2. 拘束性換気障害をきたす。
3. 発作は夜間や明け方に多い。
4. 気管支拡張薬が治療の中心である。

問題 56 アナフィラキシーを最も起こしやすい疾患はどれか。

1. 血清病
2. 食物アレルギー
3. アレルギー性鼻炎
4. アレルギー性接触皮膚炎

問題 57 胃食道逆流症について正しいのはどれか。

1. 食道下部輪走筋は緊張する。
2. 食道内圧は上昇する。
3. 食道下部扁平上皮は円柱上皮化する。
4. 体重増加によって症状は改善する。

問題 58 アルツハイマー病の初期にみられるのはどれか。

1. 幻 視
2. 記憶障害
3. てんかん発作
4. 反社会的行動

問題 59 炎症性腸疾患について正しいのはどれか。

1. クローン病は大腸に限局する。
2. 潰瘍性大腸炎は非連続性病変を示す。
3. 食生活の欧米化により患者数が増加した。
4. 赤沈は病勢を反映しない。

問題 60 膵癌について正しいのはどれか。

1. CA 19-9 は特異度が高い。
2. アミラーゼ値は病態を反映する。
3. 放射線検査で確定診断ができる。
4. 早期に発見されやすい。

問題 61 内分泌疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. アジソン病 ————— 色素沈着
2. バセドウ病 ————— テタニー
3. クッシング病 ————— 眼球突出
4. 原発性アルドステロン症 ——— 満月様顔貌

問題 62 小児で体前屈時に肋骨隆起を認めた場合、疑う疾患はどれか。

1. 側弯症
2. 肺腫瘍
3. 鳩胸
4. 肋骨骨折

問題 63 發育性股関節形成不全について誤っているのはどれか。

1. 男児に多い。
2. 分娩時の胎位異常で発生率が高い。
3. 家族内発生がみられる。
4. 治療は装具療法が主体となる。

問題 64 変形性関節症の単純エックス線所見で誤っているのはどれか。

1. 荷重部軟骨下骨の硬化
2. 関節裂隙の拡大
3. 骨棘形成
4. 骨嚢胞形成

問題 65 前立腺肥大症の初期症状はどれか。

1. 血尿
2. 尿失禁
3. 夜間頻尿
4. 排尿時痛

問題 66 鉄欠乏性貧血の患者によくみられるのはどれか。

1. 爪の変形
2. 白髪
3. 知覚鈍麻
4. 味覚低下

問題 67 特発性血小板減少性紫斑病について最も適切なのはどれか。

1. 筋肉内に血腫を生じるのが特徴的である。
2. 血管に対する自己抗体によって発症する。
3. 女性よりも男性に多い。
4. ヘリコバクター・ピロリ除菌療法が有効である。

問題 68 病初期から人格障害がよくみられるのはどれか。

1. 脳血管性認知症
2. 前頭側頭型認知症
3. アルツハイマー病
4. レビー小体型認知症

問題 69 パーキンソン病でよくみられるのはどれか。

1. 下痢
2. 発汗低下
3. 唾液減少
4. 起立性低血圧

問題 70 筋萎縮性側索硬化症でよくみられるのはどれか。

1. 膀胱直腸障害
2. 眼球運動障害
3. 嚥下障害
4. 褥瘡

問題 71 ICFの「活動」に該当するのはどれか。

1. 呼吸機能
2. 利き手交換
3. 復職
4. 家屋改修

問題 72 脊髄損傷患者に生じる自律神経過反射について正しいのはどれか。

1. 血圧上昇にはまず降圧薬を投与する。
2. 腰髄損傷患者にみられる。
3. 脳内出血を合併することはない。
4. 難治性便秘が誘因となる。

問題 73 心臓リハビリテーションの適応となるのはどれか。

1. 不安定狭心症
2. 急性心筋炎
3. 急性大動脈解離
4. 心不全

問題 74 摂食嚥下機能について正しいのはどれか。

1. 先行期では食物を認識する。
2. 口腔期では食物を咀嚼し食塊を形成する。
3. 咽頭期では食塊が咽頭へ送り込まれる。
4. 食道期では食塊が食道へ送り込まれる。

問題 75 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後のリハビリテーションで、最も適切なのはどれか。

1. 術直後から患側下肢の抵抗運動を開始する。
2. 術後疼痛緩和のために極超短波療法を行う。
3. 患側股関節の回旋運動を行う。
4. 術後早期から荷重訓練を開始する。

問題 76 改訂日本版フレイル基準に含まれる項目はどれか。

1. 骨密度低下
2. 聴力低下
3. 認知機能低下
4. 筋力低下

問題 77 脳性麻痺の病型で最も多いのはどれか。

1. アテトーゼ型
2. 痙直型
3. 失調型
4. 混合型

問題 78 パーキンソン病におけるホーン・ヤールの重症度分類において、「姿勢反射障害を認めるが日常生活に介助は不要な状態」はどれか。

1. ステージⅠ
2. ステージⅡ
3. ステージⅢ
4. ステージⅣ

問題 79 膝関節伸展の徒手筋力テストで、被検者を側臥位にして評価するのはどれか。

1. MMT 1
2. MMT 2
3. MMT 3
4. MMT 4

問題 80 成人の正常立位姿勢での重心は、重心線上の下から何 % の位置にあるか。

1. 約 35 %
2. 約 45 %
3. 約 55 %
4. 約 65 %

問題 81 関節リウマチによる関節変形で最も適切なのはどれか。

1. MP 関節の尺側偏位
2. O 脚
3. 凹 足
4. 翼状肩甲

問題 82 社会的リハビリテーションに含まれる内容はどれか。

1. 家族への介護指導
2. 職場環境の整備
3. 個別の理学療法
4. 管理栄養士による栄養管理

次の症例について、問題 83、84 の問いに答えよ。

「17歳の男子。バイク走行中に転倒し救急搬送。ヘルメットの右外側に傷があり、右肩に外傷がある。右上肢は自動運動不能で知覚異常を認めた。意識は清明、独歩可能、脳神経に異常はない。」

問題 83 診断に有用性が最も低いのはどれか。

1. CT 検査
2. MRI 検査
3. 筋電図検査
4. 超音波検査

問題 84 身体所見では肘の屈曲・手関節の背屈が不能で、手指の屈曲もできない。

上肢の骨折や関節の脱臼はない。損傷部位はどれか。

1. 側頸部
2. 腋窩部
3. 上腕部
4. 肘 部

次の症例について、問題 85、86 の問いに答えよ。

「30 歳の男性。右手小指のしびれを主訴に受診。手関節の可動域制限はないが、右肘関節の屈曲可動域は 120 度であった。幼少期に右肘関節骨折の治療歴がある。」

問題 85 身体所見上認められるのはどれか。

1. 肘関節屈筋力低下
2. 外反肘
3. 下垂手
4. 猿手

問題 86 障害神経はどれか。

1. 筋皮神経
2. 橈骨神経
3. 正中神経
4. 尺骨神経

次の症例について、問題 87、88 の問いに答えよ。

「78 歳の肥満女性。以前から腰痛があった。3 日前から左膝内側の痛みが出現。市販の外用薬を使用して様子を見ていたが、歩行時痛が増強してきたため来院した。」

問題 87 診断に有用性が最も低いのはどれか。

1. 間欠跛行の聴取
2. 膝蓋跳動
3. スパーリングテスト
4. 下肢伸展挙上テスト

問題 88 運動療法で適切でないのはどれか。

1. 水中ウォーキング
2. 体幹筋訓練
3. 大腿四頭筋訓練
4. 長距離歩行

次の症例について、問題 89、90 の問いに答えよ。

「55 歳の男性。夕食にしめさばを食べ就寝したところ 1 時間半後に強い心窩部痛で覚醒、救急搬送された。下痢は認めなかった。」

問題 89 本疾患の発症について正しいのはどれか。

1. イカの生食では発症しない。
2. 一度発症したら二度と罹患しない。
3. 食材の -20°C 、48 時間冷凍で予防できる。
4. 細菌感染症である。

問題 90 本疾患について正しいのはどれか。

1. 胃内視鏡治療を行う。
2. アナフィラキシーは発症しない。
3. 胃潰瘍を認める。
4. 抗菌薬投与が有効である。

